

修学旅行について

「学校通信古里第250号」の「年間行事予定の変更」でもお知らせした通り、新型コロナウイルスの影響で、修学旅行の期日が8月2日(日)3日(月)4日(火)に変更になりました。方面は変更なく奈良・京都のままです。3月より校長(4月からは新校長)、副校長、学年主任、JTB齋藤雫さんと、状況を確認しながら協議を重ねてまいりました。結果、本校では8月2日(日)3日(月)4日(火)に日程を移す、方面は変えないということ判断いたしました。また、「学校通信」に書いてあった「状況によっては別活動に変更」というのは、8月上旬になっても生徒の安全が担保できないことが予測される場合には、キャンセル料が発生する7月13日(月)までに学校長が判断し、秋の日帰りバス旅行などに変更するということを指します。7月3日(金)に修学旅行説明会を兼ねた3年保護者会を予定していますが、その時点では判断前ですので、8月2日(日)～4日(火)奈良・京都方面の修学旅行の説明をする予定ですし、生徒の方もその内容で行く前提で、6月から活動内容の決定、班編成、班活動の決定、部屋割りなど進めていく予定です。他校の状況を聞くと、延期時期も8月、9月、10月、11月、12月といろいろで、方面を東北地方などに移した学校もあります。ただ、感染の大きな波が秋口から再び来ないという保障はどこにもなく、各学校、各旅行会社、苦慮している中での判断になっています。保護者の皆様には、いろいろご心配をおかけしているとは思いますが、5月20日(水)時点での現状をお話させていただきました。また、今回の新型コロナウイルスの対応に関しては、ご家庭によってそれぞれお考えもあるかと思えます。6月中に「修学旅行参加申込書」を配布いたしますので、行程、内容等をご確認いただき、参加・不参加のご判断をしていただければと思っております。イレギュラーなことが続く現状ですが、学校活動にご理解、ご協力のほど、よろしく申し上げます。

まとめ

- ・ 修学旅行は8月2日(日)3日(月)4日(火)に日程を移す。
方面は変えないで奈良、京都。
- ・ 8月上旬になっても生徒の安全が担保できないことが予測される場合はキャンセル料が発生する7月13日(月)までに学校長が判断、秋の日帰りバス旅行などに変更する
- ・ 7月3日(金)の修学旅行説明会を兼ねた3年保護者会は8月2日(日)～4日(火)の奈良・京都方面の説明をする予定。
- ・ 6月中に「修学旅行参加申込書」を配布。
行程、内容等をご確認いただき、参加・不参加のご判断を。

進路関係について

3年生の進路決定までの大まかな流れ

- 8月18日(火)～28日(金) 三者懇談 (おおまかな希望進路を確認します)
- 10月 8日(木) 私立高校説明会
- 10月26日(月)～11月5日(金) 三者懇談
(受験する私立高校の決定。県立高校の特色選抜受検について)
- 11月21日(土) 県立高説明会 (土曜授業日)
- 1月12日(火)～21日(木) 三者懇談 (県立高校一般選抜受検について)

例年ですと、高校一日体験学習の日程をお知らせできるのですが、新型コロナウイルスの影響で、公立高校の高校一日体験学習は本年度は中止、宇都宮短大附属高、海星女子高、作新学院高、文星女子高、文星短大附属高は開催の可否を検討中だそうです。

ただし、国際TBC高等専修学校、クラーク記念国際高等学校、KTCおおぞら高等学院、飛鳥未来きずな高等学校、日本航空高等学校、国際共立学園高等専修学校、中央高等学院からは体験入学等の資料が届いてますので、担任を通して生徒に周知いたします。また、保護者の方から興味がある、参加したい等のご希望がありましたら、お電話ください。

作新学院の担当の方と電話で話をする機会があったのですが、一日体験の開催の可否については、6月中にお伝えしたいとのことです。

なお、私立高校一日体験学習の情報他、進路に関する情報は入り次第、お知らせします。

6月の予定

- 1日(月)第1回実力テスト 2日(火)オリエンテーション 交通安全教室
- 5日(金)生徒会立会演説会・選挙 9日(火)専門・中央委員会
- 11日(木)避難訓練 17日(水)全校朝会
- 23日(火)25日(木)26日(金)29日(月)30日(火)教育相談

主任より

新型コロナウイルスの影響で、春季大会に続いて総合体育大会も中止が決定し(吹奏楽部もコンクールが中止)、本来ならば中学校3年間の部活動の総決算となるべきところを、その力を発揮できる場もなく、落胆している生徒、保護者の方も多いかと思われます。公立高校の一日体験入学の中止などの報も受けて、本当に新型コロナウイルスの影響たるや図り知れない状況です。ただ、そんな非常時だからこそ、逆に人間が育つということもあるかと思えます。家庭と学校で手を取り合って、子どもを生徒を支えて行きましょう。